



2021年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2501 URL <https://www.sapporoholdings.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾賀 真城
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小松 達也 TEL 03-5423-7407
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	309,061	△2.0	1,544	31.7	23,948	—	15,661	—	15,731	—	21,617	—
2020年12月期第3四半期	315,346	△12.7	1,173	△81.7	△2,041	—	△1,162	—	△925	—	△8,084	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	201.95	197.72
2020年12月期第3四半期	△11.87	△11.87

(参考) 税引前四半期利益 2021年12月期第3四半期 23,883万円 2020年12月期第3四半期 △2,850百万円

※事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	576,843	167,818	167,099	29.0
2020年12月期	616,349	149,551	149,781	24.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2021年12月期	—	0.00	—		
2021年12月期（予想）				42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	447,200	2.9	6,700	57.2	18,000	—	12,000	—	12,000	—	154.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期3Q	78,794,298株	2020年12月期	78,794,298株
2021年12月期3Q	896,091株	2020年12月期	896,951株
2021年12月期3Q	77,898,123株	2020年12月期3Q	77,897,518株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記載等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(事業セグメント)	13

○第3四半期決算短信補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～9月30日)において、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大による度重なる緊急事態宣言の発出及びまん延防止等重点措置による酒類提供制限等の影響を受け、主に業務用ビール売上、ピヤホール等の外食店舗売上が、前年同期から減少となりました。

一方で、コスト構造改革等による費用の減少により、事業利益は前年同期から増益となりました。また、投資不動産の売却等により、営業利益及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期から増益となりました。

① 全般的概況

第3四半期 連結累計期間	売上収益	事業利益(※)	営業利益	親会社の所有者に帰属 する四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年	309,061	1,544	23,948	15,731
2020年	315,346	1,173	△2,041	△925
増減率(%)	△2.0	31.7	—	—

※事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除した、恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標です。

以下、事業セグメント別の概況は記載のとおりです。

② 報告セグメント別の概況

第3四半期 連結累計期間	売上収益(百万円)			事業利益(百万円)			営業利益(百万円)		
	2020年	2021年	増減率(%)	2020年	2021年	増減率(%)	2020年	2021年	増減率(%)
酒類事業	206,797	202,029	△2.3	317	45	△85.9	△3,655	△182	—
食品飲料事業	90,966	90,399	△0.6	△2,346	△257	—	△2,469	△13	—
不動産事業	17,459	16,510	△5.4	8,003	6,398	△20.0	8,609	28,555	231.7

〔酒類事業〕

(国内酒類)

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き甚大な影響を受け、国内におけるビール類総需要は、前年同期比91%程度に留まったと推定されます。

そのような中、ビールでは、業務用ビールの売上数量は減少しましたが、主力の「サッポロ生ビール黒ラベル」や「エビスブランド」の缶製品は好調で、売上数量はそれぞれ前年同期比114%、104%となりました。新ジャンルでは、国内外で3つの賞を受賞した「サッポロ GOLD STAR」が引き続き好評で、売上数量は前年同期比105%となりました。以上の結果、ビール類合計の売上数量は前年同期比91%となりました。

また、微アルコールビールテイストでは9月に「サッポロ The DRAFTY」を発売し、新しい市場の開拓に挑戦しています。

RTD(※1)では、3月に発売した缶の新商品「サッポロ 濃いめのレモンサワー」が好評で、コラボRTDの軸商品である「男梅サワー」も順調に推移し、売上収益は前年同期を大幅に上回りました。

和酒では、甲乙混和芋焼酎売上No.1(※2)の「こくいも」、「濃いめのレモンサワーの素」が引き続き好調に推移し、売上収益は前年同期を上回りました。

(海外酒類)

新型コロナウイルス感染症の影響により、業務用市場の需要は前年から引き続き影響を受けましたが、北米におけるビール類総需要は、カナダは前年同期を下回ったものの、アメリカは回復傾向にあり、前年同期を上回ったと推定されます。

そのような中、海外ブランドにおいては、スリーマン社による戦略的な商品改廃により、ビールの売上数量は前年同期を下回りましたが、注力しているRTDの売上数量は前年同期を上回りました。

サッポロブランドビールでは、家庭用への取組の強化が奏功したと共に、米国のレストランの営業制限解除に伴

い業務用市場が回復したことにより、売上数量は前年同期を上回りました。

(外食)

新型コロナウイルス感染症の影響により、パブレストラン・居酒屋業界全体が前年から引き続き甚大な影響を受けています。当社の外食事業においても、酒類提供制限の期間は多くの店舗で休業・営業時間の短縮となる状況が続きました。

そのような中、食事メニューやテイクアウト・デリバリー商品の強化、不採算店舗の閉鎖・低コスト低オペレーション業態へのシフト等に取り組み、売上収益は前年同期から減少しましたが、事業損失は前年同期から改善しました。

以上の結果、酒類事業の売上収益は2,020億円（前年同期比48億円、2%減）となり、事業利益は0億円（前年同期比3億円、86%減）、営業損失は2億円（前年同期は37億円の損失）となりました。

※1 RTD：Ready To Drinkの略。購入後そのまま飲める、缶チューハイなどのアルコール飲料

※2 インターゲージSRI甲乙混和芋焼酎市場2019年12月～2021年9月累計販売金額全国SM/CVS/酒DSの合計

〔食品飲料事業〕

国内における飲料総需要は、新型コロナウイルス感染症による影響が前年よりも小さかったことや、8月上旬までの猛暑により拡大傾向が続いておりましたが、その後発生した西日本を中心とした豪雨以降伸びが急落した影響で、前年同期比100%と推定されます。

そのような中、国内飲料では、健康意識の高まりを背景に「キレートレモン」を中心にレモン飲料が前年同期比114%と好調に推移しました。9月にリニューアルした「ザ・クラフトコーラ」も話題喚起につながり、飲料合計の売上数量は前年同期並みとなりました。

国内食品では、注力している冷製缶スープの売上数量は前年同期比129%と大きく上回りました。

レモン食品では、「ポッカレモン」が引き続き家庭需要の拡大により好調に推移し、売上数量は前年同期比106%と上回りました。

プランツミルクでは、健康志向の高まりにより、豆乳ヨーグルトが貢献し、売上数量は前年同期比106%と上回りました。また、9月には「GreenBio アーモンドミルクヨーグルトプレーン無糖」を新発売し、伸長する植物性市場のさらなる活性化に努めました。

カフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」を展開するポッカクリエイト社は、カフェ業界が前年から新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、影響が生じる以前の水準まで回復はしていませんが、売上収益は前年同期を上回りました。

以上の結果、食品飲料事業の売上収益は904億円（前年同期比6億円、1%減）となり、事業損失は3億円（前年同期は23億円の損失）、営業損失は0億円（前年同期は25億円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

首都圏のオフィス賃貸市場では、稼働率及び平均賃料水準は下降トレンドにあります。

そのような中、不動産事業では、収益の柱である「恵比寿ガーデンプレイスタワー」をはじめ首都圏を中心に保有する物件において一部のテナントが退去し、稼働率は低下しましたが、「恵比寿ファーストスクエア」等の売却や、商業施設を保有するファンドへのエクイティ投資など、物件ポートフォリオの戦略的な組替えを行いました。商業施設では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりますが、恵比寿ガーデンプレイスでは来年の商業棟リニューアルオープンにより「新しい生活価値」「新しい働き方」の提供を目指します。また6月に着工した「Sreed EBISU +t」の新築工事を進めています。

以上の結果、不動産事業の売上収益は165億円（前年同期比9億円、5%減）、事業利益は64億円（前年同期比16億円、20%減）、営業利益は286億円（前年同期比199億円、232%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、棚卸資産、有形固定資産等が増加した一方、営業債権及びその他の債権、未収法人所得税、投資不動産の減少等によって、前連結会計年度末と比較して395億円減少し、5,768億円となりました。

負債は、未払法人所得税の増加等があった一方、社債及び借入金（流動）、その他の流動負債、社債及び借入金（非流動）の減少等によって、前連結会計年度末と比較して578億円減少し、4,090億円となりました。

資本は、期末配当の実施があった一方で、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上、その他の資本の構成要

素が増加したことにより、前連結会計年度末と比較して183億円増加し、1,678億円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ64億円（33%）減少し、133億円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、269億円（前年同期比56億円、26%増）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形資産除売却損益228億円、未払酒税の減少額131億円の減少要因があった一方、税引前四半期利益239億円、営業債権及びその他の債権の減少額222億円、減価償却費及び償却費170億円による増加要因があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、177億円（前年同期は143億円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出101億円、投資不動産の取得による支出47億円があった一方、投資不動産の売却による収入341億円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、515億円（前年同期は303億円の収入）となりました。これは主に、長期借入による収入40億円があった一方、社債の償還による支出300億円、長期借入金の返済による支出132億円、コマーシャル・ペーパーの減少額50億円、リース負債の返済による支出47億円、配当金の支払額33億円があったことによるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年8月6日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	19,734	13,290
営業債権及びその他の債権	84,475	62,915
棚卸資産	36,001	40,479
その他の金融資産	5,459	3,629
未収法人所得税	8,755	1,359
その他の流動資産	6,128	5,135
小計	160,551	126,806
売却目的で保有する資産	278	—
流動資産合計	160,829	126,806
非流動資産		
有形固定資産	126,650	131,090
投資不動産	218,574	206,514
のれん	17,920	19,476
無形資産	9,023	8,944
持分法で会計処理されている投資	446	1,347
その他の金融資産	69,969	71,103
その他の非流動資産	6,108	5,414
繰延税金資産	6,831	6,148
非流動資産合計	455,520	450,036
資産合計	616,349	576,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	31,927	31,428
社債及び借入金	83,177	61,110
リース負債	5,836	6,274
未払法人所得税	727	8,039
その他の金融負債	38,120	35,231
その他の流動負債	56,456	42,715
流動負債合計	216,243	184,795
非流動負債		
社債及び借入金	158,091	136,942
リース負債	21,046	20,276
その他の金融負債	45,344	44,853
退職給付に係る負債	3,965	751
その他の非流動負債	2,832	2,504
繰延税金負債	19,277	18,905
非流動負債合計	250,555	224,229
負債合計	466,798	409,024
資本		
資本金	53,887	53,887
資本剰余金	40,853	40,596
自己株式	△1,787	△1,784
利益剰余金	33,459	48,059
その他の資本の構成要素	23,370	26,340
親会社の所有者に帰属する持分合計	149,781	167,099
非支配持分	△231	719
資本合計	149,551	167,818
負債及び資本合計	616,349	576,843

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	315,346	309,061
売上原価	219,059	215,155
売上総利益	96,287	93,905
販売費及び一般管理費	95,114	92,361
その他の営業収益	2,670	25,530
その他の営業費用	5,884	3,126
営業利益 (△損失)	△2,041	23,948
金融収益	734	1,150
金融費用	1,557	1,243
持分法による投資利益	14	27
税引前四半期利益 (△損失)	△2,850	23,883
法人所得税	△1,688	8,223
四半期利益 (△損失)	△1,162	15,661
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△925	15,731
非支配持分	△237	△70
四半期利益 (△損失)	△1,162	15,661
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△11.87	201.95
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	△11.87	197.72

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益 (△損失)	△1,162	15,661
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△4,947	1,193
確定給付制度の再測定	△646	2,055
純損益に振り替えられることのない項目合計	△5,593	3,248
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,351	2,677
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	22	31
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,329	2,708
税引後その他の包括利益合計	△6,922	5,956
四半期包括利益	△8,084	21,617
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△7,813	21,656
非支配持分	△270	△39
四半期包括利益	△8,084	21,617

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計
2020年1月1日残高	53,887	40,958	△1,792	51,521	△863	△68	30,428	-	29,497
四半期利益(△損失)				△925					-
税引後その他の包括利益					△1,318	22	△4,947	△646	△6,889
四半期包括利益	-	-	-	△925	△1,318	22	△4,947	△646	△6,889
自己株式の取得			△3						-
自己株式の処分		0	9						-
配当				△3,277					-
支配継続子会社に対する持分変動		△2							-
株式に基づく報酬取引		△12							-
利益剰余金への振替				△549			△97	646	549
所有者との取引額合計	-	△14	6	△3,826	-	-	△97	646	549
2020年9月30日残高	53,887	40,944	△1,786	46,770	△2,180	△46	25,384	-	23,158

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2020年1月1日残高	174,071	454	174,524
四半期利益(△損失)	△925	△237	△1,162
税引後その他の包括利益	△6,889	△33	△6,922
四半期包括利益	△7,813	△270	△8,084
自己株式の取得	△3	-	△3
自己株式の処分	9	-	9
配当	△3,277	△10	△3,287
支配継続子会社に対する持分変動	△2	△1	△3
株式に基づく報酬取引	△12	-	△12
利益剰余金への振替	-	-	-
所有者との取引額合計	△3,285	△11	△3,296
2020年9月30日残高	162,972	172	163,145

当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素				
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計
2021年1月1日残高	53,887	40,853	△1,787	33,459	△1,806	△40	25,215	-	23,370
四半期利益（△損失）				15,731					-
税引後その他の包括利益					2,646	31	1,193	2,055	5,925
四半期包括利益	-	-	-	15,731	2,646	31	1,193	2,055	5,925
自己株式の取得			△4						-
自己株式の処分		0	8						-
配当				△3,277					-
支配継続子会社に対する持分変動		△50							-
株式に基づく報酬取引		△24							-
利益剰余金への振替				1,964			△899	△2,055	△2,954
その他		△182		182					-
所有者との取引額合計	-	△257	4	△1,131	-	-	△899	△2,055	△2,954
2021年9月30日残高	53,887	40,596	△1,784	48,059	840	△9	25,509	-	26,340

	親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
2021年1月1日残高	149,781	△231	149,551
四半期利益（△損失）	15,731	△70	15,661
税引後その他の包括利益	5,925	31	5,956
四半期包括利益	21,656	△39	21,617
自己株式の取得	△4	-	△4
自己株式の処分	8	-	8
配当	△3,277	△1	△3,278
支配継続子会社に対する持分変動	△50	-	△50
株式に基づく報酬取引	△24	-	△24
利益剰余金への振替	△990	990	-
その他	-	-	-
所有者との取引額合計	△4,338	989	△3,349
2021年9月30日残高	167,099	719	167,818

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△2,850	23,883
減価償却費及び償却費	19,784	17,046
減損損失	562	623
受取利息及び受取配当金	△725	△551
支払利息	1,342	1,241
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△27
有形固定資産及び無形資産除売却損益 (△は益)	△775	△22,849
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	25,279	22,178
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,544	△3,414
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△2,536	△934
未払酒税の増減額 (△は減少)	△12,512	△13,133
その他	2,466	3,316
小計	27,480	27,378
利息及び配当金の受取額	742	557
利息の支払額	△1,327	△1,246
法人所得税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,568	242
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,326	26,931
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,347	△10,097
有形固定資産の売却による収入	173	1,389
投資不動産の取得による支出	△3,532	△4,683
投資不動産の売却による収入	1,000	34,078
無形資産の取得による支出	△1,604	△854
投資有価証券の取得による支出	△1,658	△1,834
投資有価証券の売却による収入	940	3,272
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	—	△2,737
出資金の払込による支出	△297	△1,300
関連会社の取得による支出	—	△900
貸付けによる支出	△69	△57
貸付金の回収による収入	23	72
その他	△939	1,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,309	17,652

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,221	589
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	17,000	△5,000
長期借入による収入	18,500	4,000
長期借入金の返済による支出	△13,792	△13,180
社債の発行による収入	30,000	—
社債の償還による支出	△10,013	△30,008
配当金の支払額	△3,286	△3,275
リース負債の返済による支出	△4,902	△4,654
その他	6	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,292	△51,525
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△48	498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	37,262	△6,444
現金及び現金同等物の期首残高	15,215	19,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,477	13,290

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、純粋持株会社である当社の下、各事業会社が、取り扱う製品・サービス・販売市場についての事業展開・戦略を立案し、事業活動を行っております。

当社グループの報告セグメントは、主に事業会社及びその関係会社を基礎とした製品・サービス・販売市場別に構成され、「酒類事業」、「食品飲料事業」、「不動産事業」の3事業を報告セグメントとしております。

「酒類事業」は、酒類の製造・販売、各種業態の飲食店の経営等を行っております。

「食品飲料事業」は、食品・飲料水の製造・販売等を行っております。

「不動産事業」は、不動産賃貸等を行っております。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	206,797	90,966	17,459	123	315,346	—	315,346
セグメント間収益	8,849	497	1,959	1	11,305	△11,305	—
合計	215,646	91,463	19,418	123	326,650	△11,305	315,346
営業利益又は営業損失(△)	△3,655	△2,469	8,609	△4	2,480	△4,521	△2,041

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	酒類	食品飲料	不動産	その他	合計	調整額	連結
売上収益							
外部収益	202,029	90,399	16,510	123	309,061	—	309,061
セグメント間収益	9,513	709	1,790	0	12,012	△12,012	—
合計	211,542	91,108	18,299	123	321,073	△12,012	309,061
営業利益又は営業損失(△)	△182	△13	28,555	23	28,383	△4,434	23,948

(注) セグメント間収益は、市場実勢価格に基づいております。

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康食品事業等を含んでおります。調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間消去取引が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。